

2014年度自己点検・評価報告書(シート)

【目標の進捗状況(達成度)評価・報告】(最終年度)

《大学》

担当(記述)部局は、 ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本報告書(シート)の自己点検・評価項目・要素と担当部局は次のとおりである。

対象部局	教育学研究科
大項目	5 学生の受け入れ (研究科)
中項目	
小項目	5.0.1 学生の受け入れ方針を明示しているか。
要素	求める学生像の明示 当該課程に入学するにあたり、修得しておくべき知識等の内容・水準の明示 障がいのある学生の受け入れ方針
小項目	5.0.2 学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。
要素	学生募集方法、入学者選抜方法の適切性 入学者選抜において透明性を確保するための措置の適切性
小項目	5.0.3 適切な定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。
要素	収容定員に対する在籍学生数比率の適切性 定員に対する在籍学生数の過剰・未充足に関する対応
小項目	5.0.4 学生募集および入学者選抜は、学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 目標の進捗状況(達成度)評価と報告【2014.4.30現在】

《進捗状況(達成度)評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況(達成度)の自己評価を行っている。進捗状況(達成度)評価は、目標の2014年4月30日現在における進捗状況(達成度)の評価(2013年度1年間の活動評価ではなく、2014年4月30日現在で目標がどこまで進んだかの評価)であり、A、B、C、Dの4段階で行ったものである。A、B、C、D評価の基準は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況(達成度)評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 教育学研究科のアドミッションポリシーを受験生に明示し、研究科の目標と内容の理解を徹底する。	→「募集要項等におけるアドミッションポリシーの明示の有無と研究科委員会構成メンバーへの周知」「受験生との事前相談の実施」「PR活動の検討と実施」	B	B	B	B	A
2. 研究科のアドミッションポリシーの研究科教員への周知を徹底する。	→「研究科委員会でのアドミッションポリシーの確認」	C	C	B	B	A
3. 教育学研究科の理念に基づき、収容定員を過不足無く確保するよう努力を行う。2010年度から実施の特別推薦入学試験を適切に実施する。	→「研究科委員会での検討と関係する委員会の設置」「大学院入試委員会の開催頻度」「特別推薦入学制度による入学者数」	C	C	C	B	B
4. 教育学研究科の理念と研究者養成のアドミッションポリシーに基づき、完年度以降の入学者選抜について検討を開始する。	→「研究科委員会での検討と関係する委員会の設置」	C	C	A	A	A

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況(達成度)報告》 担当(記述)部局は「指標」に基づいた報告をしてください。

上記で自己評価した目標の進捗状況(達成度)について、次のとおり説明・報告する。

目標1	A	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 大学院問題検討委員会および学部長室会において、アドミッション・ポリシーの明示方法、進学相談会およびPR活動の実施内容について定期的に検討した。特に2011年度からは、2013年度入学生を対象に取り組みの改善を行った。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か アドミッション・ポリシーを募集要項やホームページでよりわかりやすく提示し、研究科委員会構成メンバーへの周知を行った。受験生を対象とした大学院進学相談会および雑誌広告などのPR活動を実施した。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か アドミッション・ポリシーの明示方法と研究科委員会構成メンバーへの周知について引き続き検討する。2014年度以降は学外および学内受験生を対象とした全学の大学院進学相談会に参加する。また、学部生を対象にした進学相談会も回数を増やし、参加しやすい時間帯に変更する。	☆
		その他	
			☆
目標2	A	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 2013年度入試より3コース制になったため、入学者募集や入学試験についての検討を大学院入試WG、大学院問題検討委員会および研究科委員会で行い、アドミッション・ポリシーを再確認した。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か アドミッション・ポリシーの確認と研究科教員への周知徹底を行った。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 引き続き、研究科委員会等でのアドミッション・ポリシーの確認を行う。	☆
		その他	
			☆
目標3	B	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 大学院入試WG、大学院問題検討委員会および研究科委員会において、入学者募集および入学試験について検討し、2010年度から実施してきた特別推薦入学制度について見直しを行った。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 受験志願者および合格者(入学者)の数が増え、前期課程については収容定員に対する在籍学生数率が100%以上を維持している。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 受験生を対象とした説明会や事前相談等を通して、受験志願者および入学者をさらに増やす努力をする。	☆
		その他	
			☆

目標4	A	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 大学院問題検討委員会、学部長室会および将来ビジョン委員会において、完成年度以降の入学選抜について検討した。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 次の2点について検討し、決定した。①2013年度入試に向けた推薦入試制度を設けた。②2013年度より教育学専攻幼児教育学領域および臨床教育学領域を廃止し、教育学専攻幼児教育コース、初等・中等教育コース、臨床教育コースを設けた。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 推薦入試の志願者、合格者について検証を行い、修正すべき点については、改善していく。また、3コース制にしたことによる研究体制の変化などについて、検証していく。	☆
		その他	☆
			☆
備考			☆

《評価指標データ》

(特定項目データ)本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【教育学研究科】		前期/後期課程	単位	2010	2011	2012	2013	2014	備考
指標1	入学定員	前期課程	名	6	6	6	6	6	・5/1現在
		後期課程		3	3	3	3	3	
指標2	志願者総数	前期課程	人	4	6	5	11	7	・当年度は5/1現在 ・前年度以前は秋学期入学を含める
		後期課程		2	1	2	2	3	
指標3	合格者数	前期課程	名	3	5	3	9	3	・当年度は5/1現在 ・前年度以前は秋学期入学を含める
		後期課程		2	1	1	1	0	
指標4	入学者数	前期課程	名	3	5	3	9	3	・当年度は5/1現在 ・前年度以前は秋学期入学を含める
		後期課程		2	1	1	1	0	
指標5	志願者倍率	前期課程	倍	0.7	1.0	0.8	1.8	1.2	・5/1現在 ・志願者÷入学定員
		後期課程		0.7	0.3	0.7	0.7	1.0	
指標6	入学定員に対する入学者数比率(5年間平均)	前期課程	倍	—	—	—	0.77	0.77	
		後期課程		—	—	—	0.40	0.33	
指標7	入学者に占める一般入試入学者の比率	前期課程	%	0.0%	40.0%	66.7%	33.3%	33.3%	・5/1現在 ・一般入試入学者数÷入学者数
		後期課程		100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
指標8	収容定員	前期課程	名	12	12	12	12	12	・5/1現在
		後期課程		9	9	9	9	9	
指標9	在籍学生数	前期課程	名	6	8	8	13	12	・5/1現在
		後期課程		3	4	4	3	2	
指標10	収容定員に対する在籍学生数比率	前期課程	%	50.0%	66.7%	66.7%	108.3%	100.0%	・5/1現在
		後期課程		33.3%	44.4%	44.4%	33.3%	22.2%	